

平成 30 年度 国際交流センター事業計画書

国際交流センター長 吉重 美紀

I. 年度計画・目標

1. 本学のグローバル化にむけ、交流協定校との交流に協力するとともに、英語圏派遣先の開拓と短期研修プログラムの開発を継続する。
2. 本学学生の外国語、特に入学前から大学院までの英語教育と、外国人留学生に対する日本語教育をより充実させる。
3. 公開講座や講習等の実施、スポーツアカデミーの支援等をおし、地域および社会にも貢献する。

II. 事業計画

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト

- ① 交流協定校への短期留学を推進するため、昨年度始まった交流協定校との短期(4泊5日程度)研修プログラムを継続して実施する。
- ② 昨年度同様、米国(オレゴン、ハワイ)等の短期研修プログラムを紹介し、参加希望学生の指導を行うとともに参加費を補助(年5名程度)する。
- ③ オーストラリアへの短期研修プログラムの開発・構築に向け情報収集し、最終的な確認等のため現地を訪問する。
- ④ 本学の学生・教職員のグローバル化を推進するため、派遣学生や留学生、卒業生等による異文化体験発表会や講演会を開催する。
- ⑤ 留学相談ウィーク(前期・後期各1回)の実施
- ⑥ センターニューズレターやFacebook等を利用した帰国留学生のネットワーク体制の充実につとめるとともに、Facebookの運用改善を図っていく。

2. 教育プロジェクト

- ① 新入生に対する英語プレイスメントテストの実施(LL1教室とスポーツ情報センター利用)と利活用(4月2日)
- ② 2年次生に対する英語アチーブメントテストの実施と利活用:過去2年間実施したTOEIC IPテストについては、学生のレベル(特に下位レベル)を考慮し実施テストの変更を検討し教務委員会に提案する。(12月)
- ③ A0・推薦合格者に対する入学前教育(英語)による教育効果の検討:アドミッション・センターとの連携
- ④ 留学生対象日本語プレイスメントテストの実施(LL1教室)と利活用(4月・10月年2回):昨年度より始めたパソコンを利用した筑波大学のJ-CAT日本語テストを継続する。
- ⑤ 留学生対象の日本語補講(前期・後期)の開講および教材の充実:補講外部講師の採用期限(5年)もあるため、講師候補者の確保に努める。
- ⑥ 留学生関連行事(留学生オリエンテーション、チューター研修会等)の実施
- ⑦ 海外留学・派遣学生(トビタテ留学Japan、交流協定校、TSI等)への事前・事後指導を実施

するとともに、短期研修プログラムの単位化への検討を始める。

- ⑧ LL1 教室(センター1階)の改修：LL1 教室の CALL システムのサーバーの保証が夏に終了するため、年度末(2月中旬～)システムおよびパソコンの撤去とタブレット端末を活用した授業等で使える教室に改修する。
- ⑨ TOEICIP テストの実施(年5回)と財団による受験料補助
- ⑩ 「いんぐりっしゅ☆る～む」を学生および教職員の希望者を対象に開催
前期：①5月23日(水)、②5月30日(水)、③6月13日(水)、④6月20日(水)、⑤6月27日(水)、⑥7月11日(水)【計6回実施】
後期：①10月31日(水)、②11月7日(水)、③11月14日(水)、④11月21日(水)、⑤11月28日(水)、⑥12月5日(水)、⑦12月12日(水)【計7回実施】

3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- ① 公開講座「Short Story Creation—簡単な物語を英語で作って、発表しよう！」
平成30年5月9日(水)～6月6日(水)全5回開講(国重・エルメス)
- ② 教員パワーアップ研修の実施
「Changing Our View of English—英語のパワー再発見」(国重・エルメス/8月1日(水))
- ③ 教員免許状更新講習の実施
「日本語(外国人対象)の教え方入門」(吉重/8月8日(水))
「Rediscovering the Power of Englishk～英語に対する見方を変えてみよう！」
(国重・エルメス/8月24日(金))

Ⅲ. 予算計画

国際交流センター経費 2,620,000円

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト 130千円

区分	金額	算出内訳
人件費	千円	
物件費	130千円	印刷費、行事費
その他	千円	

* ②③④については、グローバル化推進として重点プロジェクトに申請予定

2. 教育プロジェクト 2,310千円

区分	金額	算出内訳
人件費	千円	
物件費	2,010千円	消耗品費(英語テスト受験料2回分:1、2年生)、保守・整備費(LL1教室ウィルス対策、LL2教室整備等)、教材費
その他	300千円	修繕費(LL教室パソコン、モニター、ヘッドセット等)

* ⑧については、LL1教室改修として重点プロジェクトに申請予定

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト 20千円

区分	金額	算出内訳
人件費	千円	
物件費	20千円	消耗品費(開講講座関連)
その他	千円	

4. その他 160千円

区分	金額	算出内訳
人件費	千円	
物件費	千円	
その他	160千円	小荷物運送、会議旅費(鹿屋-東京:1回、鹿屋-大阪:1回)

Ⅳ. その他

1. 会議開催、参加予定

- ① 国際交流推進委員会の開催
- ② 国際交流センター定例会議の開催(毎月1回)
- ③ 全国国立大学法人留学生センター長および留学生課長等合同会議(11月)
- ④ アドミッションセンターとの入学前教育実施に関する合同会議
- ⑤ センター非常勤講師および日本語補講講師との打ち合わせ・情報交換会の開催

2. 広報活動

- ① 国際交流センター(IELEC)ニューズレターNo.35の発行(平成30年11月発行予定)とセンターWebサイトへのデータの掲載
- ② センターFacebookへのセンター事業の写真、記事の掲載(随時)
- ③ センターWebサイトの更新(随時)